

12春季生活闘争勝利長岡地区総決起集会開催

労働条件の引き上げで、格差是正とデフレ脱却を図ろう

12春季生活闘争勝利長岡地区総決起集会
が、3月2日(金)18時から長岡市立劇場で
行われ、春闘諸要求獲得とすべての働く仲間
の処遇改善に向け、全構成組織・単組が粘り
強い交渉を展開することが確認された。

総決起集会には、構
成組織から200名を
超える組合員が結集し
た。開催にあたり矢島
議長は「12春闘は要求
書を提出し14日回答
に向けスタートした。
格差是正や非正規を含
めた底上げが必要だ。
粘り強い交渉を展開し
よう」と等と挨拶を述べ
た。続いて、連合新潟
牧野事務局長から連合
新潟の春闘方針を中心
とした基調が述べられ
、「働くことを軸とし
る安心社会」の実現
に向け、12春季生活
闘争方針と政策・制度
実現の取り組みを運動
の両輪としてすべての
労働者の処遇改善に向
け取り組むことや、市

日赤労組の代表者から
春季生活闘争に臨む力
強調された。
財への投資が重要と
強調された。
続いて、各産別単組
からの決意表明では、
自治労・長岡市職労、
JAM新潟・島津労
組、UIゼンセン同
盟・マルイ労組、日教
組・新教組、電機連
合・TDKラムダ労
組、ヘルステア労協・
連合中越第4回幹事会



第744号2012.3.21
連合中越地域協議会
長岡市東蔵王2-2-68
TEL 0258-24-0515
FAX 0258-24-8930
発行人 矢島 良彦
定価 1部10円
購読料は会費に含む



12春季生活闘争 地域LSC会議報告

連合中越は春季生活
闘争長岡地区総決起集
会を終了後、第4回幹事
会を開催し第65回地
域LSCサテライト閉
鎖に関する事項と県L
SC第2次5か年計
画、第83回メーデー
花の種と長岡地区大会
講演者等について審議
し決定した。

強い決意が表明され
た。また、後段は須貝
SJネット委員長の提
案した集会アピールを
採択し、矢島議長の団
結ガランパロウで総力を
挙げて闘う決意を確認
した。



日本は資源の乏しい国が
故に、科学や技術等を活用
し国を立てようという科学
技術創造立国を謳ってきた
▼報知新聞から1901年
(明治34年)1月2、3日に
わたり電気通信、運輸、医
療など23項目に及ぶ「20世
紀の予言」が掲載された▼一
例を挙げると電信のみなら
ず、無線電話は世界諸国に
連絡して東京にあるものが
ロンドン、ニューヨークに
ある友人と自由に対話する
ことができる「携帯電話に
よる国際電話」。当時80日
間を要した世界一周は7日
で足りる「航空機」の発
達」。電気の力で野菜が成
長する「人工光を使った室
内栽培」。電話口に対話者
の肖像が現れる「テレビ電

東蔵王2



事務局長
小林 守

話やテレビ会議」。東京神
戸間は2時間半となる「高
速鉄道」。馬車は廃され自
動車に代わる「モーターリ
ゼーション」。中には、人
と獣が自由に対話すること
ができる等いい加減なもの
もあるが、盲導犬・警察
犬、またはペットの癒やし
効果と受け取れる▼昨年、
巨大津波が約千年に1回三
陸海岸を繰り返し襲った。痕
跡は6千年間で6回のように
だ。過去を軽んじるとやが
て未来から軽んじられる言
葉がある▼大震災と原発事
故で科学技術創造立国が大
きく揺らいだ感があるが、
希望の力は大きい。3.11
は鎮魂と復興・再生を願っ
た。

新潟県ライフサポートセンター 地域LSCサテライト代表者会議開催

新潟県ライフサポート
センターによる地域
LSC・サテライト代
表者会議が2月28日
(火)新潟市で開催
された。会議にあたり山田
専務理事からは、東部
労協LSC経験交流
の報告ならびにLSC
事業を地域に根ざした

顔の見える運動として
社会にとつて有益な事
業へと発展させたい等
が述べられた。
次に、柏崎LSC設
立や相談受付状況等の
報告がされた。引き続
いての協議事項では、
2013年4月からス
タートする第2次5か
年計画「基本計画素案」
について説明を受け
た。

連合新潟 公契約推進委員会

連合新潟第7回公契
約推進委員会が、2月
28日(火)13時30分
から行われ、最初に、公
契推進委員会が、2月
28日(火)13時30分
から行われ、最初に、公
契推進委員会が、2月
28日(火)13時30分
から行われ、最初に、公



契約推進委員の交代を
確認。牧野公契約推進
委員長は、議会要請な
どを行い条例制定につ
なげたい旨の挨拶が
あった。

活動報告では、佐渡
地協学習会や地方連合
会担当者会議の報告、
多摩市・相模原市で公
契約条例可決、札幌
市、国分寺市の議会動
向等の報告があった。

サラリーマン川柳(稼いでも貯まっていくなのは妻の肉)(妻からだ！ジョーズのテーマ着信音)(化粧代洗って流す太っ腹)(オレオレのわからぬ妻は電話切る)

サラリーマン川柳 (携帯の届かぬ地下で羽伸ばし) (待ち合わせ近くまで来て急ぐふり)

公契約条例をつくろう

公契約の下で働く人の適正な賃金水準や労働条件を確保するための公正労働条件を盛り込んだ公契約条例制定の機運が高まっています。

公契約とは?

国や地方自治体(県市区町村)の事業(工事、サービス、物の調達など)を民間企業などに発注・委託する際に結ぶ契約を公契約と言います。

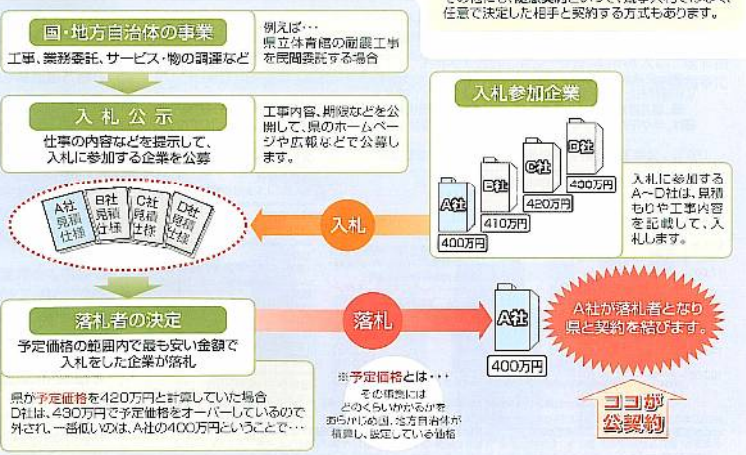
公契約は私たちの生活に密着

行政改革・規制緩和がすすみ、近年ではあらゆる部門にわたって民間委託が増えています。そのため、公契約はあらゆる事業が対象となります。例えば...

病院の医療事務	建設業	保育園	施設のビルメンテナンス
高齢	鉄道・駅のビルメンテナンス	公共施設管理	国有林業
水処理・下水処理	介護・療養サービス施設	道路	店舗・施設のビルメンテナンス
机・椅子など備品の購入	ホームページの作成	印刷物の作成	自動車・バイクなどの購入
情報管理	建設・リノベーションの取組	など挙げればきりがありません。	

公契約の流れ

公契約を結ぶ相手は、談合防止等のため、多くの場合、競争入札で決定します。競争入札の仕組みは下図のとおりです。



部落解放・人権政策確立新潟県実行委員会主催

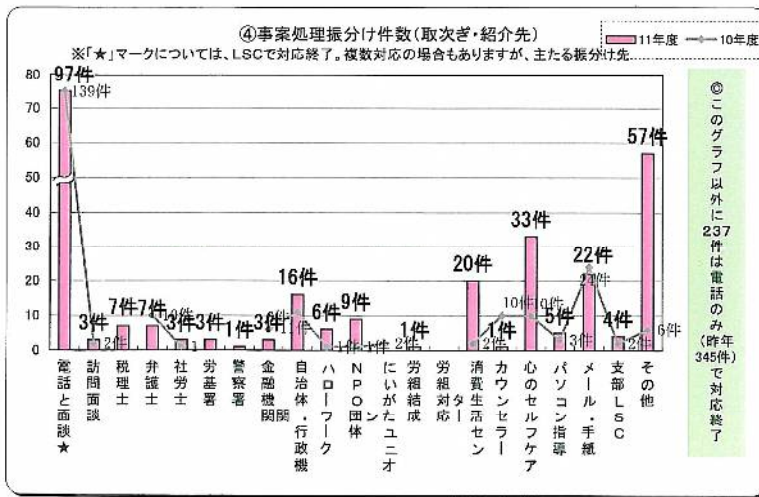
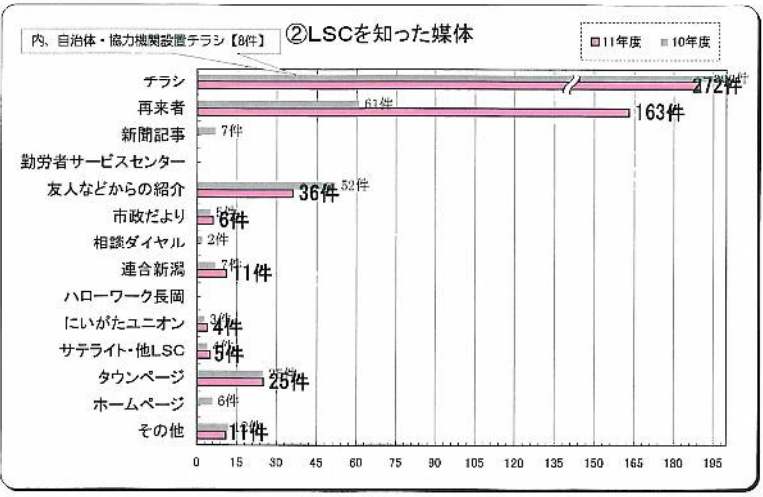
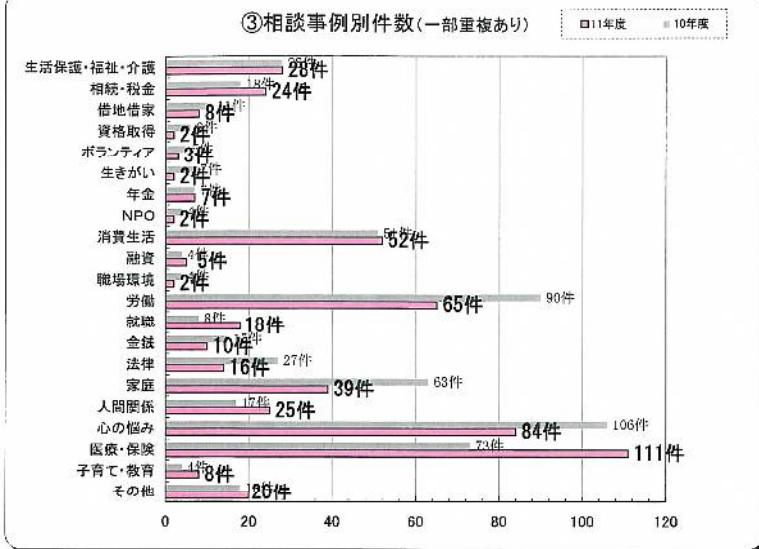
人権侵害救済法(仮称)を学ぶ

部落解放・人権政策確立新潟県実行委員会主催で3月10日午後2時から長岡市中央公民館大ホールにて「人権侵害救済法(仮称)学習会」が開催され、50名以上が参加した。主催者は、あつちの部落解放連盟の中核として、部落解放の推進を図りたいと、人権侵害救済法(仮称)の学習会を開催した。講師は、部落解放連盟の代表者で、人権侵害救済法(仮称)の現況と通知制度について、講演があった。また、質疑応答やこれまでの活動経緯等も報告され、閉会となった。



通知制度」 「人権侵害救済法の現況」と題し、講演があった。講演では、「近所に携帯番号の書かれたビラをまかれた」といういやがられ事件の事例を交えたり、スライドスクリーンや冊子を使って説明された。

【11'4月~12'2月 LSC相談集約】相談合計数527件



ながおかライフサポートセンター相談受付件数

曜日	件数
月曜日	106件
火曜日	118件
水曜日	104件
木曜日	106件
金曜日	93件
土・日曜日	6件

年代	男性	女性
10代	0人	0人
20代	2人	12人
30代	26人	39人
40代	20人	47人
50代	28人	50人
60代	19人	14人
70代以上	6人	12人
年代不明	133人	122人